

本書の構成・利用法

case

数多くの申請書を見てきた著者が様々な分野からの例文を厳選し、審査委員目線でコメントしています

2 研究目的 (概要)

case 12

唐突なはじまりで読みにくい

理工学 生物科学 看護学 人文学 社会科学 総合領域

重要度 ★★★ 頻度 ★★★

どこがよくないか

申請分野

比較的良好にみられるなど関連の深い分野がある場合は濃く示します

例文1

研究目的 (概要) ヒト皮膚の角質層に治療薬をレーザー共焦点顕微鏡で

例文2

研究目的 (概要) 当該研究計画の目的について、審査にまでためて記述してください。
人間の欲求に関する脳内の情報処理は記憶活動を促進する。Enriaranは生存欲求が、欲求の階層構造の最下層に位置し、その情報処理が記憶活動を促進することを報告している。しかし申請者は、より上層の欲求である目標達成欲求に関連する情報処理が、意味的情報処理よりも記憶活動を促進することを発見した。そのために、欲求の階層構造における各階層の欲求が記憶活動にどのような効果を及ぼすかを比較し、欲求の階層構造に対応して記憶に及ぼす効果が変化するかどうかを検討することが、第1の目的である。

重要度 ★★★ ← → ☆☆☆
(採択に影響大) (審査委員の心証次第)

頻度 ★★★ ← → ☆☆☆
(まずはここを直すべし) (配慮できれば二重丸)

インデックス

8つの改良方針 (ふさわしく/はっきりと/具体的に/簡潔に/推敲のヒント/レイアウト/図表/アピールする) で該当するものを濃く示します

さらに...

申請者のギモン

フォントの相談や図版の見栄えなど、申請者からありがちな 30 の疑問について具体的に回答しています

申請者のギモン1 ひらがなと漢字

細かいことだが、漢字で書くのがいいのか、それともひらがなで書くのがいいのが違う。例えば、語句をつなげる場合の「及び」と「および」、どちらがよいのだろうか？

審査委員としては基本的に「及び」と「および」のどちらでもよいが、個人的には本文に漢字が多いときや、前置が漢字である場合はひらがなの「および」を使う方がよいと思う。これは不必要な漢字を減らすことで、本文を読む抵抗感が減ること、キーとなる専門用語 (カタカナでない場合は漢字であることが多い) が目に入りやすくなることを期待して、である

アドバイス

著者からのアドバイスを示します。自分の申請書に活用してください

アドバイス

書きはじめには2つのパターンがある。迷ったら「本研究の目的は」or「背景」から書きはじめよう

添削例

例文1

研究目的(概要) ※当該研究計画の目的について、概要はまたヒト皮膚の角質層に治療液が浸透する物理メカニズムの解明を目的とし、レーザー共焦点顕微鏡と～

開始部分が唐突。

例文2

研究目的(概要) ※当該研究計画の目的について、概要はまた人間の欲求に関する脳内の情報処理は記憶活動を促進する。Eni造の脳下層に位置し、その情報処理が記憶活動を促進することをより上層の欲求である目標達成欲求に関連する情報処理が、意味のあることを見いだした。そのために、欲求の階層構造における各層の効果を及ぼすかを比較し、欲求の階層構造に対応して記憶に及ぼすことが、第1の目的である。

背景が長すぎる。目的との関係が不明瞭。解決すべき課題は？

なぜよくないのか？
どのように改良すればよいか？

申請書ならではのポイントと改良の方針です。わかりやすいよう具体的に例文から、そして応用しやすいよう一般化した文脈からも解説します

どのように改良すればよいか？

申請書での文章のはじめ方(開目)は、「本研究は」「本研究の目的」2つ目は、まず「背景」を書くべき。のあとにそのまま研究の「背景」ではなく、まずは、まず一般的な研究の背景(と)そして重要なことは、そのすぐ後に

例文1は冒頭に簡単に「本研究の

例文2は「背景」と解決すべき課題。脳内の情報処理は記憶活動を促進し、それを解決するためにどの

研究目的(概要) ※当該研究計画の目的について、概要はまたヒト皮膚の角質層に治療液が浸透する物理メカニズムの解明を目的とし、レーザー共焦点顕微鏡と～(以下省略)

例文2

研究目的(概要) ※当該研究計画の目的について、人間の欲求は階層構造を示し、欲求に関する脳内には、Eni造の脳下層に位置し、その情報処理が記憶活動を促進する。Eni造の脳下層に位置し、その情報処理が記憶活動を促進することをより上層の欲求である目標達成欲求に関連する情報処理が、意味のあることを見いだした。そのために、欲求の階層構造における各層の効果を及ぼすかを比較し、欲求の階層構造に対応して記憶に及ぼす効果がある。(以下省略)

なぜよくないのか？

例文1は「目的」から書いているが、このはじめり方はあまりにぶっさらばうだ。悪くはないがもう工夫できる。

例文2は研究の「背景」をまず書いているが、解決すべき課題を書かずに、そのまま現在の状況をずるずると書き続けてしまっている。

いずれも審査委員によってはわかりにくさを感じる原因になる。申請書の開

書き方のポイントを身につけたい

- ① **どこがよくないか** の例文を使い、case タイトルをヒントに添削の腕試し
- ② **アドバイス** **添削例** でポイントを確認！
- ③ **なぜよくないのか？** **どのように改良すればよいか？** を熟読すれば、セルフチェック力も鍛えられます
- ④ ふとした思いつきは **申請者のギモン** に類例がないかチェック！

申請書のブラッシュアップに役立てたい

※申請書の草案を用意(草案作成に難しさを感じる場合は「補遺」を参照してください)

- ① セルフチェック/第三者チェックで、改良すべき点をあぶり出す
- ② 目次や付録、索引を活用して自分の改良すべき点に近い case にアクセス！
- ③ **どのように改良すればよいか？** **改善例** を参考に、改良してみましょう
- ④ ①～③を繰り返して、魅力的な申請書に仕上げ、応募！